

令和8年度 第1回寝屋川市環境保全審議会 会議録（要旨）

日 時 令和8年5月19日（火）10:00 から 12:00 まで

場 所 寝屋川市クリーンセンター 6階 多目的室

出 席 鯉坂会長、村瀬委員、清水委員、相子委員、金林委員、山中委員、掛川委員、
櫻井委員、荻野委員、玉川委員、古川委員、丸山委員、吉岡委員

1. はじめに

（事務局よりあいさつ）

2. 次第1 本市の環境施策について

（資料2に基づき、事務局より説明）

【鯉坂会長】

それではご説明いただきました内容について、意見交換をしたいと思います。
通常ですと、一人ひとり順番に意見を伺っておりますが、本日は案件が多いため、
ご意見等がありましたら挙手いただきお伺いする形で進めたいと思います。

【丸山委員】

グリーンカーテン事業として、話題になっている「オカワカメ」をご紹介します。
たいと思います。ゴーヤだけでなくオカワカメもいいなと思ってご提案させていただきました。
また、機会がありましたら取り組んでいただければと思います。

【鯉坂会長】

他にございますでしょうか。

【玉川委員】

令和7年度から8年度にかけて、何か追加や変わったところがありますでしょうか。

【事務局】

基本的には、令和7年度と同じような形にはなりますが、1つ1つの事業につきましては内容について改善を行い実施しております。例えば「環境教育・環境学習」については小学生に伝わりやすいものとなるよう検討し、実施しております。

【鯨坂会長】

他にございますでしょうか。

【村瀬委員】

10 ページについて、ごみの排出量の推移については減少しているということですが、減少は緩やかになっています。対策としては今ご説明いただいた事業を継続していくというお考えでよろしいでしょうか。

【鯨坂会長】

おそらく別の資料の中でもご説明があるのかとは思いますが、減少がやや緩やかであり、この中で目標が達成できるかどうかというところを考えた時に、家庭ごみ、事業ごみ、それぞれの取組についてどのようにお考えかということかと思います。

【事務局】

まず、ごみの排出量について減少が緩やかになっていることにつきましては、一般廃棄物処理基本計画で目標値を定めておりまして、令和12年度目標のごみ総排出量が約59,000トン、家庭系ごみが約45,700トン、事業系ごみが約13,300トンとなっており、目標に向かって着実に進んでいると考えております。

確かに委員のおっしゃる通り、事業系ごみに関しましては、かなり緩やかな減少となっておりますが、緩やかではあるものの着実に減少しております。

日々私どもも、環境フェアやコミセン祭りなどのイベント等での啓発も行っておりますので、今後も力を入れて進めていきたいと思っております。

3. 次第2 第3次寝屋川市環境基本計画の中間見直しについて

(資料3に基づき、事務局より説明)

【鯨坂会長】

こちらにつきましては、昨年度皆様に審議いただいて中間見直しをし、バージョンアップしたものになりました。特に国の目標値46%に対して、49.7%という目標値を設定しますので、そのあたりがしっかり反映されているかというところを確認いただければと思

います。

ご意見等があればお願いいたします。

【村瀬委員】

今回、見直しいただいたところについては理解いたしました。

今回修正されていないところについて、お伺いいたします。

39 ページのアスベストの飛散防止に係る立入検査件数と、それに関連して、41 ページのコラム「アスベストとは」というところです。このコラムに、2028 年をピークにアスベストの工事が増加するとあります。

今後、アスベストに関する問題が懸念されるところですが、39 ページの立入検査件数の目標値は「増」となっています。そこで、現在の検査件数が実際に増加しているのか、横ばいなのか、また、検査結果について十分な検討が行われているかなど、アスベストに関する行政の取り組み状況について教えていただければと思います。

【鯨坂会長】

アスベストについてのご質問をいただきました。

コラムにもある通り 2028 年頃をピークにと書かれていますので、どれぐらい検査数の増加があるのかなど、具体的な数字等についてはいかがでしょうか。

【事務局】

アスベストに関する届け出といたしましては、令和5年度9件、令和6年度3件でございます。その内飛散性が高い吹付アスベストについては令和5年度7件、令和6年度3件となっております。

【村瀬委員】

届出についてのご説明がありましたが、立入検査数については、特段大きく増加していないという認識で間違いありませんでしょうか。また、指導が必要と判断された事案については指導が行われ、その後の改善状況を確認するフォローも実施されているものと思います。指導を行った結果、問題が解決した事例があれば教えていただきたいと思います。

【事務局】

届出があった件につきましては立入検査を実施いたしまして、不備がある場合は、是正をさせるという対応をとっております。不備に関しましては軽微なものとなっております。

【鯨坂会長】

その他、何かご質問がありますでしょうか。

【丸山委員】

水質についてご質問します。

ダイキンが去年の6月、PFASの相談窓口を設けたということです。これは摂津の淀川製作所のことだそうですが、PFASの一種のPFOAが淀川水路で高濃度で検出されたとのことで、それを受け、PFASの相談窓口を要望されて設置したという記事がでておりました。寝屋川における水質については、どのように安全管理をしているのか、今後は大丈夫なのかということをお伺いしたいと思います。

【事務局】

寝屋川市については、萱島橋で寝屋川の水質を調査しております。

PFASに関しまして状況をお伝えさせていただきますと、令和7年度に寝屋川市の河川表流水と地下水をそれぞれ現状分析させていただき、50ナノグラムという指針値が国の方から示されている中で、約半分程度の測定結果というところでございます。

動向につきましては、引き続き国の専門家会議が開催されておりますので、国の動向も注視しながら寝屋川市の状況も把握していきたいと思っております。

【村瀬委員】

PFASの件ですが、現時点での調査はその1ヶ所のみという理解でよろしいでしょうか。それとも、他の地点でも既に検査を実施しているのか、あるいは今後検査を行う予定があるのかについて、お伺いいたします。

【事務局】

環境省に報告をさせていただいているのは、令和5年の過去の数字でございます。

令和7年度から河川と地下水について1か所ずつ測定を開始したということでして、そちらの方の報告についてはまだ行っていないということになります。

【鯨坂会長】

続きまして、案件3に移らせていただきます。

4. 次第3 第2次寝屋川市地球温暖化対策地域計画の中間見直しについて

(資料4に基づき、事務局より説明)

【鯨坂会長】

それではこの件につきましてご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

【山中委員】

目標値を 49.7%に上げられたということですが、ここの部分、数字で書くのは簡単だと思いますが、具体的にどうしていくかというところを教えてくださいなと思います。

【事務局】

今年度から、クリーンセンターのごみ焼却で発電した電力を小中学校や公共施設に送電する自己託送を実施しております。この取組は二酸化炭素排出量削減につながるものです。今後もこのような新たな取組を検討し、実施していきたいと考えております。

【山中委員】

29 ページ（温室効果ガス排出量）についてですが、大阪府と寝屋川市との比較において、「家庭」が多い、「産業」が少ないとなっており、家庭のところをより強化していくというのがポイントかと思いますので、そういった内容もまたご検討いただけたらと思います。また、より具体的に、市民の方にわかるように書いていただけているかなと思いますが、一方で、42 ページの高効率給湯器についてですが、高効率給湯器というのが何なのかということが市民にはわかりにくいところもあるので、コラムでもいいですし括弧書きでもいいので、例えば家庭用燃料電池だったり、エコキュートだったり、今までと違う給湯器ということを知りやすく書いていただいた方が、より市民に理解いただけるかと思います。

【鯨坂会長】

先ほどの資料 3 は昨年度見直した全体の基本計画の話でしたが、この資料 4 につきましては個別計画であり、これから見直して反映させていきたいと思いますので、今のようなご指摘をいただけるとありがたいです。
皆様他に何かございましたらお願いします。

【清水委員】

内容が本当にわかりやすく素晴らしいと思います。今ご指摘いただいた件なのですが、どうしても計画書といいますと、「私たちはこういうことを取り組んでまいります」という書き方になるかと思いますが、市民向けには、この目標を達成するために市民一人一人に何ができるかということをお伝えしていく必要があるかと思います。
市民が取り組むことがすごく大切なのだということをお伝えするような、読む側に向けてのメッセージを入れた方がよいかと思います。
どうしても、「私はこういたします」というような書き方になってしまうのですけれども、あくまでも市民の皆様がこうしてくださることでこの目標が達成できますというような言い方で書いていただけるとよいかと思います。

また、クリーンセンターでの発電につきましても、具体的な数値を足していただくとよいかと思えます。

これまでこんなにかかっていたものを、自給できているんですよという言い方ができると、目標達成のためにこの事業をやってよかったと言ってもらえるかなと思います。

【事務局】

市民の取組についての内容ですが、説明ができておりませんでした、45 ページ以降に具体的な取組、削減数値などを記載しております。

委員のおっしゃられた内容につきましては、修正等検討いたします。

【鯉坂会長】

清水委員がおっしゃられたように、なるべく市民目線で、市民の方々が自分事としてとらえられるようにお書きいただくとよいかと思っております。

あとは、せっかくコラムがかなりちりばめられていますので、少しコラムの書き方を見直すとよいかと思えます。

その他何かございますでしょうか。

【吉岡委員】

家庭ごみの減量について、家庭ごみを有料化にしたら、ごみを出す量は意識的に減ると思いますし、かなり関心を持つと思います。有料化のゴミ袋も、資源ごみの方は少し安くして、家庭ごみの方はプラスしてなどやっていかないと、この目標を達成するのは難しいと思います。

また、私はアスパラの会という畑をしています、畑の中でもグリーンカーテンをしなければならぬ、そういう危険な状態を私たちはわかるのですが、そういう状況を知っていただければ、自分が経験したらわかると思います。

そこまで強硬なことしないと、なかなか解決できないかと思っています。

【事務局】

家庭ごみの有料化につきましては、本市としてはあくまで最終手段かと思っております。

なによりも、まずはごみ減量等に向けて市民への周知啓発を行っていくことが大事だと考えております。

例えば大阪公立大学工業高等専門学校様との取組の中で、関西電力様と協力して新たな取組を進めていただいておりますが、そういった周知啓発についてどうやって進めていったらいいのかというのは本市としても考えているところです。

【吉岡委員】

有料化しないと、今強硬に出ないといつするんですか。甘いと思います。

【事務局】

ご指摘の通り、有料化によりごみを減らしていく手法も1つあると思います。

様々な手法の中で今後検討していくことが必要だとは思っておりますが、一足飛びに変えることは難しいところではございます。今後そういったご意見いただいた中で検討を行ってまいります。

【鯨坂会長】

その他にも何かございましたら、お願いいたします。

【山中委員】

先ほど清水委員からもありましたとおり、一個一個の活動がどれぐらいなされてるのかというのが重要かと思えます。

45 ページ以降からの内容について、今できる内容はわかりますが、将来的にどうなっていくのかということも市民にわかっていたかかないといけないと思いますので、ペロブスカイト太陽電池や水素や合成メタン（e-メタン）等の将来の絵姿を入れていただくこともご検討いただければと思います。

5. 次第4 第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画について

（資料5に基づき、事務局より説明）

【鯨坂会長】

今回の案件について、いろいろと何度も議論しているように思われるかもしれませんが、3 ページに書かれている流れを見ていただけるとわかりやすいかと思えます。

第3次寝屋川市環境基本計画については昨年度全体的な見直しを行いました。

第2次寝屋川市地球温暖化対策地域計画については、中間見直しを行いますということで先ほど議論していただきました。

今ご説明いただいたのは、第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画で、こちらについてご報告をいただいたということでございます。

これについては、もし何か気づいたことがあった場合には修正ができるのでしょうか。

【事務局】

こちらで検討させていただいた上でではありますが、修正は可能です。

【鯨坂会長】

ご意見を出していただければ事務局の方でも検討するということですので、何かございましたら意見を上げていただければと思います。地球温暖化対策の事務事業編となっていますので、その点で何かご指摘があればと思います。

意見がなければ、案件5について事務局より説明をお願いします。

6. 次第5 第8回寝屋川市環境フェアの開催について

(資料6に基づき、事務局より説明)

【鯨坂会長】

このイベントにつきまして、PRも含めて何かございましたら、ご意見等いただければと思います。

【金林委員】

質問ではなくPRになりますが、今回の環境フェアで、寝屋川市様と大阪高専様にご協力いただきまして、環境のすごろくを出店したいと思っております。

寝屋川市のご家庭でのCO₂ 排出割合が非常に多いということで、ぜひお子様と遊びながら学んでもらい、みんなでわいわい環境のことを喋ってもらえればと企画しております。ぜひ皆様もお越しいただき、PRしていただけたらありがたいと思っております。

【鯨坂会長】

私からもPRになりますが、高専の生徒たちと関西電力様とで、エコすごろくを作らせていただいております。

今までも、基本計画版やクリーンセンター版というように、様々な形で環境を学んでもらえるすごろくになっておりましたが、今回は、電力について学ぼうという視点で作らせていただいております。

ですので、今後、例えばお米について学ぼうとか、工業について学ぼうとか、ご参加いただいている皆様のバックボーンを生かしながらできるとよいかと考えております。

今回はたくさん学生が来てくれますので、すごく賑やかになるかなと思っています。やはり環境教育ということですので、子供たちに楽しみながらしっかりと学んでもらい、電力版以外にも寝屋川市の基本計画版やクリーンセンター版についても、うまく展示をするような予定でおります。

そのほかに、皆様参加される方も多数いらっしゃるかと思いますので、何かこういう取組を予定していますということがあればお願いいたします。

【相子委員】

生物多様性センターでは、生き物のつながり、そして生物多様性、重要性ということを提唱させていただこうと思っております。できるだけわかりやすくということをコンセプトに展示を作ってまいりますので、お立ち寄りいただけたらと思います。

【丸山委員】

わたしからは、冊子を2冊、プリントを1枚資料としてお持ちしました。

寝屋川の自然を学ぶ会は、大人も子供も体験を通して自然に関心を持ち、多様性に視野を広げられるよう活動しております。

活動を始めてから26年になりまして、たくさんの参加をいただきながら、或いは環境総務課ともタイアップさせていただきながら、これからも自然の多様性に視野を広げた子供たちの育成を通して、活動しようと考えているところです。

もしお近くにそういうことに関心がおありになる方がおられましたら、お勧めいただきたいと思います。

それと、資料4の33ページの長期目標ですが、今まで頑張って少しずつ減らしていった温室効果ガス排出量ですが、令和12年度にはここまで、それから令和32年度にはこのようにという長期目標が示されておりまして、本当にこれは実現可能なのかという心配、危惧もあります。

そのためには、誰が何を目指すべきなのかという具体目標をアピールすることも本当に大事かと思えます。

そうでなければ、なかなか達成できないのではないかと危惧をしています。

また、この実行計画とか基本計画等にはグラフが多用されておりまして、とても良いグラフがたくさんアップされていてわかりやすいと思います。グラフを見るにつけ、本当にこれは大変だということを感じ取っていただければと思います。

最近は広報にも随分とアピールする紙面を掲載してくださっておりまして、市民の方々の共感が得られればと思います。

5月から30度というようなお話を聞くと、これからの夏が怖い気もしますけれども、それだからこそ、みんなが環境の問題をグローバルに考えて乗り切っていかなければ、危機感を持たなければいけないのではないかと、私も委員をさせていただきながら、改めて感じるところです。またPRの方、ぜひご協力お願いしたいと思います。

【吉岡委員】

以前に関西電力社を見学させていただきましたが、二酸化炭素をなくす努力や水素を作ろうという努力をさせていただいて、でも一般の私たちから見ると、わたしたちに省エネをしてと言いながら、二酸化炭素をすごく出しているというイメージしか持っていない。

努力をしているということをもっとアピールしないと思います。

【金林委員】

ご指摘ありがとうございます。

我々としても、CO2 排出量を下げていく努力は引き続きしてまいりたいと思っておりますし、また先ほどご指摘いただいたような色々な取組についてはうまくPRしていければと思います。今回はエコすごろくにそこまで難しい内容は落とし込めないのですが、そういったものを含めてPRをしながら、皆さん活動の一助になればと思っております。

【鯨坂会長】

先ほどのエコすごろくで言うと、今回の電力版すごろくの中ではエネルギーミックスをしっかり考えようということで、エネルギーミックスについてゲームをしながら学んでいけるような仕掛けになっています。

そういったところも、このような教育の仕方もあるのだということを見ていただけると、楽しめるかと思います。

その他に何かございますでしょうか。

【古川委員】

実は、3月で活動が停止ということになりまして、環境フェアには参加しないことになりました。

今まで環境フェアに参加させてもらい、だいぶ環境フェアも定着してきて、来られる人も増えてきて喜んでるところです。

環境フェアでフリーマーケットをされていますが、子供が子供に売るフリーマーケットというのをテレビで見かけました。

今、100均に行ったら色々なものが売っていて、壊れたらもう捨ててしまえ、また100均で買えばいいわといって物を大切にしない、そうではなくて、物を大切に長く使おう、もう自分は使わないけれど誰かが使ってくれるのだったら誰かに譲ってあげようとか、そういう精神が芽生えるだとか、人と交流することによってコミュニケーション能力も養われるとか、子供の力が伸びていくというようなことをやっていました。

なかなか面白いなと思ひまして、大人が指図してやらせるのではなくて、子供自体で考えて、ああでもないこうでもないと考えながらやっていくというのは、なかなか面白い取組だと思います。

そういうことも取り入れたら、楽しみながら環境について考えていったりすることができるかと思います。

【鯨坂会長】

少し時間がありますので、できれば今日まだご発言されていない方も、ご自身の今の環境や、今こんなことをしていますということがありましたら、ぜひご報告いただければと思います。

【荻野委員】

ごみの分別の話になりますが、燃えるゴミの日に、缶やビンがごちゃまぜになっていて、それを何人かで集まって整理をしたことがありました。自治協でも懸念を持っているのですが、お一人お一人がごみの捨て方に関心がなくなっていると実感しています。

寝屋川市では189の自治会がありますが、理事たちが集まったときに述べるのは、もっと意識を持って取り組んでいただきたいということです。

口酸っぱく言っても右から左へ流れてしまう。このような委員様方の様々な意見が、一般市民には浸透していないのが残念な気がしております。

市民の皆様に周知し、前に進んでいければと思います。

【鯨坂会長】

そのようなことをずっと言い続けていただくことで、市民の皆様の意識も徐々に良くなっているかと思います。

【掛川委員】

長年委員として参加されている方もおられますし、また新しく委員になられ参加をされている方もおられます。また、行政の担当が変わったりと、新しくスタートしているのだなとひしひしと感じております。

皆様よろしくお願いいたします。

【櫻井委員】

工業会からですが、実は自身の自社業が環境に関する仕事、事業所として、すごく興味深い会議だと思っております。

また、2年ほど前からメダカの飼育をしておりますと育っております、また、今回の環境フェアでもまたメダカに関することがあるようで、今年に行きたいと思っております。

この会議は、色々な方が参加されて、色々な意見を聞きながら、私自身も勉強しているところでございます。資料も、前回に続き立派なものを作られていると感心しております。

今年もできる限り参加しようと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【鯨坂会長】

皆様にご発言いただきました。

あえて色々とお聞きしたのは、やはり皆さま、様々なバックボーンを持たれて参加されておられ、ご自分のフィールドに戻られた際に、色々な方々に今回の取組等を説明する機会があるかと思います。

その時に、まず自分事として捉えていただき、それをしっかりと周囲の方にフィードバックしていくということが大事な事かと思っております。

ですので、参加するたびに学んでいくというような視点を持っていただけるとよいかなと思っております。

それでは、次に案件6について事務局より説明をお願いします。

7. 次第6 令和8年度環境保全審議会スケジュール（予定）

（資料7に基づき、事務局より説明）

【鯨坂会長】

次に案件7 その他ですが、事務局から何か追加がございますでしょうか。

8. 次第7 その他

（事務局より第2回環境保全審議会について案内）

【鯨坂会長】

以上で本日予定しておりました案件が全て終了しました。事務局の挨拶を受けたいと思います。よろしくお願いします。

9. おわり

（事務局よりあいさつ）